

貴重な個人コレクションふたつ、同時公開！

2008年に寄贈された、それぞれ特徴のあるふたつのコレクション「麻生三郎コレクション」「北川原コレクション」を鎌倉館、鎌倉別館で同時に初公開します。



麻生三郎
生田のアトリエにて 1987年



北川原コレクションより
海老原喜之助 《川辺にて》 1962年

鎌倉館で紹介する「麻生三郎コレクション」は、人間存在への深い洞察を画布に刻んだ画家麻生三郎(1913ー2000)が自ら共感を寄せた画家と彫刻家たちの作品群です。ベン・シャーン、アルベルト・ジャコメッティ、オーギュスト・ロダンらの作品、日本の民衆絵画大津絵などを画家はいつも手元に置いて大切にし、ときには自らの創作に示唆を受け、刺激を受けつづけました。53点を数えるその作品は、画家の個性的な眼と感覚で選ばれ、深いところで自分の創作と響き合っていました。今回は、画家愛蔵のコレクションを麻生三郎自身の作品と合わせて展示し、彼を理解し、その創作の隠された回路を考えると同時に、彼のコレクションに含まれた作品のすばらしさも堪能していきたいと思います。

鎌倉別館で公開する「北川原コレクション」は、美術愛好家が日々身近で好きな絵を楽しむという、もっとも素直な、そして贅沢な望みを凝集させた作品で成り立っています。72点の作品は、どれもが小品で、日本、ヨーロッパの画家たちが、小画面のなかに個性豊かな感覚を煌かせて、収集家の洗練された趣味をあらわにしています。

これらふたつのコレクションは、それぞれの貴重さと特徴を際立たせ、当館の作品収集活動の歴史のなかでも特筆される重要なものとなっています。同時公開のこの機会に是非、充実したその内容を十分味わっていただければと思います。

麻生三郎とそのコレクション

ASO Saburo and His Collection

神奈川県立近代美術館 鎌倉 2009 年 9 月 19 日(土)～11 月 3 日(火・祝)

休館日：月曜日(ただし 9 月 21 日、10 月 12 日は開館)、9 月 24 日(木)、10 月 13 日(火)

開館時間：午前 9 時 30 分—午後 5 時(入館は午後 4 時 30 分まで)

観覧料：一般 700 円 (600 円)、20 歳未満と学生：550 円 (450 円)、65 歳以上：350 円、高校生：100 円

※ () 内は 20 名以上の団体料金です。※中学生以下、障害者の方は無料です。

会場：神奈川県立近代美術館 鎌倉

主催：神奈川県立近代美術館

このたび神奈川県立近代美術館 鎌倉では、「麻生三郎とそのコレクション」展を開催いたします。戦前・戦後を通じて、美術界を牽引した重要な画家のひとり、麻生三郎(1913—2000)は、自身が共感を寄せる他の画家の作品を収集するコレクターでもありました。

戦後フランスを代表する彫刻家セザール(1921—1998)の表現主義的な昆虫や人間のブロンズ像。リトアニア出身で 20 世紀アメリカの社会問題を人間味あふれるまなざしで、厳しくも詩情豊かにとらえたベン・シャーン(1898—1969)のテンペラ画や水彩画、そして版画連作の代表作「マルテの手記」。彫刻家オーギュスト・ロダン(1840—1917)の、代表作《地獄の門》に関連するモチーフを取り上げた、繊細かつ大胆な水彩画《ウゴリーノ》や、20 世紀のドイツを代表する画家のひとりオットー・ディックス(1891—1969)の現実を直視する緊張感あふれる版画。閉塞した社会に生きる人間の本質を追究してきた彫刻家ジュリアーノ・ヴァンジ(1931—)の水彩画。人間の実存を細長い人体像で多様なヴァリエーションとして表現したアルベルト・ジャコメッティ(1901—1966)のドローイングや版画、あるいは日本で生まれた最も優れた民画のひとつである江戸時代に制作された大津絵など、それらのコレクションは多種多様でありながらも、どこか麻生三郎の作品と通奏低音のように交感しあう造形要素を有しています。

本展では当館に寄贈された麻生三郎コレクション(53 点)の全貌を紹介し、あわせて麻生三郎自身の作品(油彩 6 点、水彩デッサン 9 点、彫刻 1 点)を展示して、それらの共鳴し響きあう魂の在処を辿り、麻生三郎がどのような視点で同時代の美術を捉え、自身の作品を展開していったのかを探求します。

関連企画 担当学芸員によるギャラリー・トーク

10 月 10 日(土)、10 月 24 日(土)、

※いずれも午後 3 時より 1 時間程度、申込不要、参加無料 (ただし展覧会の観覧券が必要です。)

■お問い合わせ先 神奈川県立近代美術館 鎌倉
〒248-0005 鎌倉市雪ノ下 2-1-53
tel.0467-22-5000 fax.0467-23-2464
広報担当：山内舞子 展覧会担当：水沢勉 是枝開

■展覧会情報は、
美術館ホームページでもご覧いただけます。
<http://www.moma.pref.kanagawa.jp/>

麻生三郎とそのコレクション

ASO Saburo and His Collection

Press
Release

報道用資料
2009 年 7 月



大津絵《鬼の念仏》
江戸時代 墨、顔料、紙



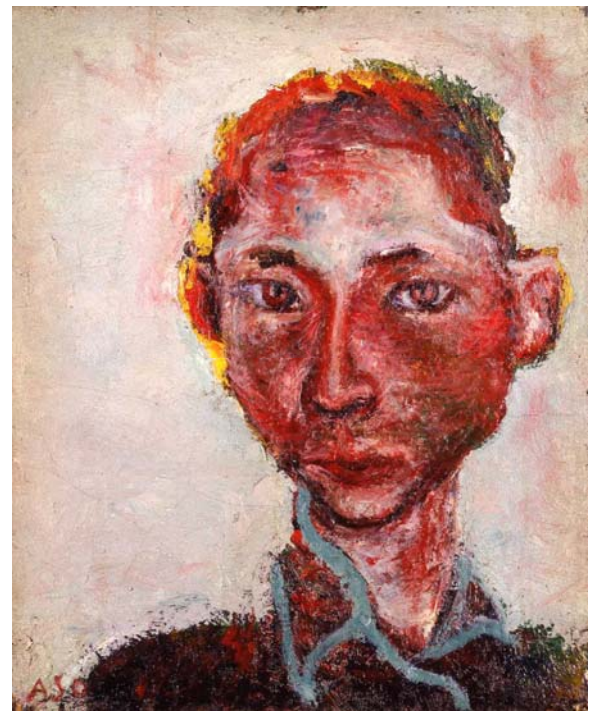
ジュリアーノ・ヴァンジ
《人間と環境》1971 年 水彩、紙



オーギュスト・ロダン《ウゴリーノ》
制作年不詳 水彩、紙



麻生三郎《数寄屋橋 運河》1956 年 インク、紙



麻生三郎《自画像》1935 年 油彩、キャンヴァス